

もりや仙一郎便り

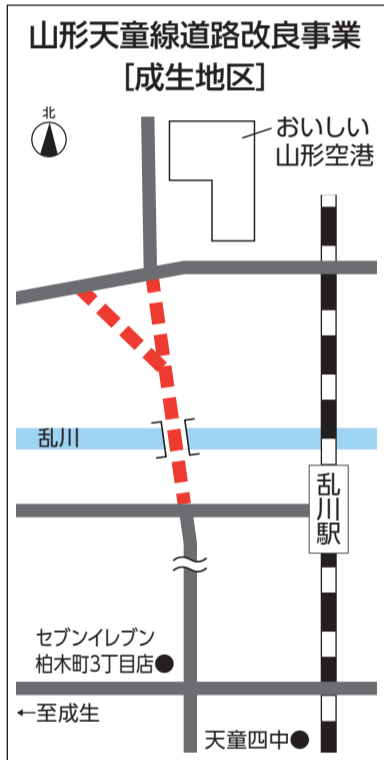
県政報告 Vol.98

経済発展の基盤は「道路」 天童市内でインフラ整備進む



おいしい山形空港に伸びる新道路の橋梁部を視察。天童市乱川地区

私は、議員活動の中で一番重要なのは「インフラ整備」だと思っています。天童市内各所で現在、道路工場の整備検査



山形天童線道路改良事業 [成生地区]。おいしい山形空港から、おいしい山形空港付近に伸びる山形天童線道路改良事業成生区(天童市成生)東根区(天童市成生)の事業計画が南北の幹線道路となる。天童市は国道13号線が南北の幹線道路となる。天童市は国道13号線が南北の幹線道路となる。天童市は国道13号線が南北の幹線道路となる。

この事業は着工中ですが、この新道路は補完道路として、早期完成を目指しております。また、当県政報告紙11月号にも掲載しましたが、東北中央自動車道「山形中央IC」天童IC間に設置が採択された「天童南スマートインターチェンジ」は経済効果が大きいと予想されており、天童市内の近隣工業団地では販売・仕入など多くの物流で高速道路を利用すると想定され、さらに芳賀タウンスへのアクセス向上、交流人口拡大にも期待されております。



山形大学農学部で「新農林専門職大学」について意見交換

農業系大学県内3校に増加

私は新専門職大学が、2年制の農林大学校敷地内に設置することを反対でした。なぜ同じ分野の大学を同じ場所に設置するのか、どのように学生のすみ分けをするかなど疑問を投げかけました。また、この学校周辺は新庄市の中心市街地

からずいぶんと離れており、通学や青春を謳歌したい学生の生活には不向きな環境であります。志願する学生に魅力がある環境整備が必要と考えます。大学の設置は決定事項ですので今後、学生向けの住環境の整備、生活のためのアルバイト先など、学生目線を考えた新庄市の新しい町づくりに期待いたします。また、同じ敷地内にある2つの学校の連携についてどんな相乗効果があるのか、どのように学生にフィードバックしていくのか注視してまいります。



村山秀樹山形大学農学部長に説明を受ける

また、当県政報告紙11月号にも掲載しましたが、東北中央自動車道「山形中央IC」天童IC間に設置が採択された「天童南スマートインターチェンジ」は経済効果が大きいと予想されており、天童市内の近隣工業団地では販売・仕入など多くの物流で高速道路を利用すると想定され、さらに芳賀タウンスへのアクセス向上、交流人口拡大にも期待されております。

東北初 農林分野専門「4年制」大学 令和5年、新庄市で開学予定

山形県は農林業を担う人材育成を目的とした4年制の専門職大学「東北農林専門職大学(仮称)」を、新庄市の「山形県立農林大学校(2年制)敷地内に新設する方針です。農林分野では東北初の専門職大学で2023(令和5)年に開学を予定しております。

山大農学部長と意見交換 「学生のすみ分けが大切」

山形大学農学部の村山秀樹学部長(天童市門職大学(仮称)出身)と今秋、新しい意見交換をする機会を2回得ました。1回目は私の政務活動で鶴岡市の山形大学農学部へ向ったとき、2回目は農林水産常任委員会の現地視察で向ったときです。東北にある農業系大学の状況として、弘前大学、岩手大学、山形大学、東北大学、福島大学、新潟大学、秋田大学、新潟食料農業大学、新潟食料農業大学の9校で2016年に1180人の定員だったのが、来年度1490人に増加します。この5年間で定員数が26%増えていることがわかりました。反面、学生の志願倍率は減少傾向にあるようです。山形大学農学部、山形県立農林大学校に加え、新設の東北農林専門職大学が加わり3校になります。農業系を選択する若者に対してチャンネルが多くなっている反面、お互いで潰し合うこととは思いますが、定員割れなどで共倒れにならないよう連携をとり、この点は村山学部長も「大学のすみ分けをしっかりと考えるべき」と指摘されていました。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで
こうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549
〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎 検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス